
保全通信 2026年1月号〔No.22〕
千葉県環境保全センターメールマガジン

はじめに

明けましておめでとうございます。いよいよ令和8年の幕開けです。「8」という数字は、古くから「末広がり」として豊かさや繁栄を象徴するラッキーナンバーです。

さらに今年は午（うま）年。「万事がウマくいく」一年になるよう願いを込めて、今年初めのメールマガジンをお届けしてまいります。

本年もどうぞよろしく願いいたします。

———目次———

1. 令和7年12月の活動報告
2. 令和8年1月の活動（予定）
3. 今後の浄化槽管理士研修会日程
4. Coffee break（浄化槽ビジョン2024）

『新春賀詞交歓会』を開催します。

とき：令和8年1月29日（木）

時間：午後3時～

場所：オークラ千葉ホテル

※添付ファイルあり（ご案内及び申込書）

=====

1. 令和7年12月の活動報告

=====

○白井正一 政経セミナーin千葉

開催日：令和7年12月1日（月）

場 所：ホテルグリンタワー幕張

参加者：伊藤理事長 小野専務理事

○たけだ正光千葉県議会議長就任祝賀会

開催日：令和7年12月2日(火)

場 所：TKP ガーデンシティ千葉

参加者：伊藤理事長 小野専務理事

大野専務理事 小川理事

大山智行さん

○会計業務打合せ

日にち：令和7年12月3日(水)

場 所：(一社)千葉県環境保全センター

担 当：大嶋会計事務所(田島様)

○千葉県議会傍聴(伊藤昌弘県議)

開催日：令和7年12月5日(金)

場 所：千葉県議会_議会棟

参加者：伊藤理事長 実川副理事長

小野専務理事

○理事会

開催日：令和7年12月5日(金)

場 所：オークラ千葉ホテル

出席者：26名

○一般廃棄物処理業務における労務費の
適切な転嫁等に関する研修会

開催日：令和7年12月5日(金)

場 所：オークラ千葉ホテル

受講者：市町村・一部事務組合 24名

保全センター会員 35名

○あんしん財団説明レクチャー

日にち：令和7年12月13日(土)

場 所：(一社)千葉県環境保全センター

受講者：事務局 3名

内 容：紹介業務内容(年一開催)

○青年部会役員会 & 研修会 & 忘年会

日にち：令和7年12月13日(土)

場 所：ホテルポートプラザ千葉

役員会：出席者9名

研修会：職場を変える！「5s」の基本と実践

受講者：20名

忘年会：25名

○千葉県庁 年末のあいさつ

開催日：令和7年12月19日(金)

場 所：千葉県環境生活部部長室

循環型社会推進課

水質保全課

危機管理対策課

議会事務局 他

訪問者：伊藤理事長 小野専務理事

○執行部 & 事務局慰労会

開催日：令和7年12月26日(金)

場 所：ホテルポートプラザ千葉

参加者：10名

=====

2.令和8年1月の活動（予定）

=====

○千葉県庁 年始のあいさつ

開催日：令和8年1月6日(火)

場 所：千葉県環境生活部部長室

循環型社会推進課

水質保全課

危機管理対策課

議会事務局 他

訪問者：伊藤理事長 小野専務理事

大野検査センター理事長

○会計業務打合せ

日にち：1月7日(水)

場 所：(一社)千葉県環境保全センター

担 当：大嶋会計事務所(田島様)

○公明党千葉県本部 新春賀詞交歓会

開催日：1月14日(水)

場 所：東京ベイ幕張ホール

○千葉県廃棄物適正処理推進大会

開催日：1月15日(木)

場 所：千葉県教育会館 新館大ホール

入 場：無料

保全センター会員(従業員)様より

会長表彰被表彰者3名決定しております。

※添付ファイルあり

○日本環境保全協会賀詞交歓会

開催日：1月20日(火)

場 所：KKRホテル東京

○浄化槽指定検査機関による説明会

開催日：1月21日(水)

場 所：千葉県浄化槽協会

○新風会

開催日：1月23日(金)

場 所：カメラリアヒルズカントリークラブ

○千葉県環境保全センター新春賀詞交歓会

開催日：1月29日(木)

場 所：オークラ千葉ホテル

=====
3. 今後の浄化槽管理士研修会日程
=====

◇◆◇開催日◆◆◇

開催日：令和 8 年 2 月 18 日(水)

場 所：市川市衛生処理場

締切日：1 月 23 日(金)

申し込みはこちら → <https://x.gd/BIFT8>
(一社)全国浄化槽団体連合会申込みフォーム

※ 今年度最後の研修会です

=====
4. Coffee break（浄化槽ビジョン2024）
=====

全国浄化槽団体連合会が浄化槽に対する方向性を示した浄化槽ビジョンを公開したので数回に分けてご紹介いたします。

浄化槽ビジョンが捉えている社会変化と課題

浄化槽を取り巻く環境の変化

1.人口減少、高齢化、働き方の変化

① 人口減少に伴い、人口密度の低い地域が今後増加し、浄化槽による汚水処理を必要とする地域が増加する。② 人材不足は深刻で、2040（令和 22）年には 1,100 万人の労働供給が不足すると推計される。③ 人口密度の低下に伴い、既存のビジネスモデルや事業の在り方では事業性を確保できない懸念が高まる。

2.災害激甚化

災害は多発し、激甚化。直近の能登半島地震では、上下水道に甚大な被害があり、復興後の

社会像を踏まえて汚水処理事業の在り方を見直し、浄化槽による汚水処理を選択するといった対応も見られている。

3.ICT の進展

事業者における DX 化が盛んであるが、インフラ業界の取組割合は 3 割程度に留まる。

4.カーボンニュートラル

①日本の温室効果ガスの排出量のうち、エネルギー起源のものが 84%を占めている。

②浄化槽ではブロワ等でのエネルギー起源 CO2、生物処理に伴う非エネルギー起源の温室効果ガスの削減が求められている。

=====

編集後記

今年目標(抱負)など決まりました?もし「まだ何もできていない!」と焦っていても大丈夫です。今日が一番若い日です。

令和8年が皆様にとって飛躍の年となるよう、私たちも精一杯サポートさせていただきます!今年もよろしくお願いいたします。

一般社団法人千葉県環境保全センター

〒260-0024 千葉市中央区中央港 1-11-1

Tel 043-245-4222 Fax 043-245-4223

E-mail : info@kankyohozen.com

H P : https://kankyohozen.com
